

# 社会福祉法人大田幸陽会 法人本部

## 平成 29 年度 事業報告

### 1 評議員会の開催

定 時 平成 29 年 6 月 28 日(水) 議案 5 件、報告 5 件

評議員総数 11 名：出席 10 名、欠席 1 名

第 2 回 平成 29 年 11 月 8 日(水) 議案 1 件、報告 6 件

評議員総数 11 名：出席 11 名、欠席 0 名

第 3 回 平成 30 年 3 月 29 日(木) 議案 3 件、報告 5 件

評議員総数 11 名：出席 11 名、欠席 0 名

### 2 理事会の開催

第 1 回 平成 29 年 6 月 13 日(火) 議案 9 件 報告 6 件

理事総数 10 名：出席 9 名、欠席 1 名 監事総数 2 名：出席 2 名

第 2 回 平成 29 年 6 月 28 日(水) 議案 3 件

理事総数 9 名：出席 8 名、欠席 1 名 監事総数 2 名：出席 2 名

第 3 回 平成 29 年 10 月 31 日(火) 議案 9 件 報告 7 件

理事総数 9 名：出席 8 名、欠席 1 名 監事総数 2 名：出席 2 名

第 4 回 平成 29 年 12 月 19 日(火) 議案 1 件

施設長等の選任についての書面決議

第 5 回 平成 30 年 3 月 20 日(火) 議案 7 件 報告 8 件

理事総数 9 名：出席 9 名、欠席 0 名 監事総数 2 名：出席 2 名

第 6 回 平成 30 年 3 月 23 日(金) 議案 1 件

施設長等の選任についての書面決議

### 3 規則、規程等の制定・施行及び改正等 29 件

- (1) 内部管理体制の整備に関する基本方針（第 1 回理事会制定）
- (2) 定款細則（第 1 回理事会制定、平成 29 年 4 月 1 日施行）
- (3) 組織規程（第 1 回理事会全面改正、平成 29 年 6 月 28 日施行）
- (4) 事案決定規程（第 1 回理事会全面改正、平成 29 年 6 月 28 日施行）
- (5) 役員候補者選出規程（第 1 回理事会制定、平成 29 年 4 月 1 日施行）
- (6) 顧問、相談役及び参与設置規程（第 1 回理事会制定、平成 29 年 6 月 13 日施行）
- (7) 懲戒委員会規程（第 1 回理事会一部改正、平成 29 年 6 月 28 日施行）
- (8) 就業規則の一部改正（平成 29 年 5 月 25 日理事長専決、6 月 1 日施行、第 1 回理事会承認）
- (9) 契約職員就業規則の一部改正（同上）
- (10) 嘱託職員就業規則の一部改正（同上）
- (11) 給与規程（第 1 回理事会一部改正、平成 29 年 7 月 1 日施行）

- (12) 嘱託職員就業規則（同上）
- (13) 契約職員就業規則（同上）
- (14) 法人事業企画調整室設置要綱の一部改正（平成29年6月13日理事長専決、同日施行、第1回理事会報告）
- (15) 経理規程（第3回理事会一部改正、平成29年4月1日施行）
- (16) 育児・介護休業等に関する規程（同上、平成29年10月1日施行）
- (17) 文書管理規程（同上、平成29年6月28日施行）
- (18) 職員倫理規程（同上、平成29年11月1日施行）
- (19) 法人施設利用者の権利擁護規程（同上、平成29年11月1日施行）
- (20) 職員勤務評定規程（平成29年12月19日理事長専決、平成30年1月1日施行、第5回理事会報告）
- (21) 嘱託職員就業規則（平成30年2月6日理事長専決、平成29年4月1日施行、第5回理事会報告）
- (22) 事案決定規程（第5回理事会一部改正、平成30年4月1日施行）
- (23) 給与規程（同上、平成30年4月1日施行）
- (24) 障害者生活ホーム運営規程（同上、平成30年4月1日施行）
- (25) 就業規則（同上、平成30年4月1日施行）
- (26) 契約職員就業規則（同上、平成30年4月1日施行）
- (27) 非常勤職員就業規則（同上、平成30年4月1日施行）
- (28) 嘱託職員就業規則（同上、平成30年4月1日施行）
- (29) ケアサポート幸陽登録訪問介護員就業規則（第5回理事会制定、平成30年4月1日施行）

#### 4 組合等登記令による法人登記

- (1) 資産総額 1,663,444,165 円 平成29年3月31日変更 同年6月30日登記
- (2) 役員 理事長 河野桃弘 平成29年6月28日就任 同年7月6日登記

#### 5 職員等の採用・退職等

	正規・嘱託等	契約職員	非常勤職員	合計
施設長等の採用	0			0
職員採用	25	7	22	54
計	25	7	22	54
	正規・嘱託等	契約職員	非常勤職員	合計
施設長等退職	2			2
職員退職	19	1	6	26
計	21	1	6	28

#### 6 昇格選考

- ・平成29年12月16日（土）10時～筆記試験・13時～面接試験

区分	3等級昇格試験	4等級昇格試験
A 有資格者	22人	13人
B 受験申込者	5人	7人
C 受験率	22.7%	53.8%

D 受験者	5人	7人
E 合格者	5人	7人
F 合格率 (E/D)	100.0%	100.0%

## 7 重点目標の推進状況

### 1) 新規事業の展開・既存事業の再編

目標・ねらい	① 区立志茂田福祉センター一部業務受託の安定運営
実績・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4月より並行運営から本運営開始。区立志茂田福祉センター管理係との一部業務委託連携会議を延べ21回開催し、十分な連携の下で良好な運営を行った。</li> <li>・新規の取り組みのパン工房は5月より試作を開始。9月には保護者及び大田区福祉部ほかへも試食を実施し、11月30日販売開始、12月3日の民生委員100周年記念事業で一般販売を開始した。</li> <li>・月1回の「センター市」を発展させ「しもだや」として開店する方向や、志茂田中学校生徒の実習等受入を通して連携を深める方向が得られた。</li> <li>・工賃は、自販機保守活動がなくなる中、パン販売等の成果により1万3千円台を維持した。</li> </ul>

目標・ねらい	②「相談(生活モデル視点)」のネットワークで事業所を包摂する面的体制整備
実績・課題	<p>ア) 400件の相談支援体制のレベルアップ整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・契約件数394件(大森148、蒲田99、糀谷羽田62、調布76、大田区外9)の事例分析を進めている。概況において約1割に当たる40件相当が、いわゆる「丸ごと」事例(世帯丸ごとの対応が必要な事例、現在の制度枠だけでは対応できない複雑な事例)であることが明らかになってきた。今後、個人情報を守りながら情報共有・複合事例の検討ができる場をつくることが課題。</li> <li>・相談支援実施時の「関係者会議」開催を通じた区内居宅系事業者との関係づくり・ネットワークづくりそのものが面的体制整備の課題であり、計画相談外関係者会議を8月以降記録し77回開催した。</li> <li>・人材育成：相談支援に関わる事業所職員14名に対し「相談支援従事者会」を計画通り年3回開催し、実践事例を通じた視点や制度理解の共有を行った。</li> <li>・大田区相談支援従事者初任者研修(受講者20名)へのファシリテーター1名を3日間派遣(8/28、9/1、9/11)した。</li> </ul>
目標・ねらい	②「相談(生活モデル視点)」のネットワークで事業所を包摂する面的体制整備
実績・課題	<p>イ) 中間就労、働く場の拡充</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大田区生活再建・就労サポートセンター(JOBOTA)との交流</li> </ul>

5/9懇談会、6/9のぞみ園・6/12さわやか見学

- ・「はたらく場」見学者の受入 7/19まごめ園1名、7/24さわやか1名
- ・さわやかワークセンターで就業経験の乏しい方を8月から12月ボランティア受入した事例を下記連絡会で発表した。  
⇒『はたらくサポートとうきょう参加事業所連絡会』H30. 2. 1  
(主催：東社協地域公益活動推進協議会) 飯田橋セントラルプラザ  
なお、生活困窮者就労訓練事業認定申請を検討した結果、障害福祉サービス就労継続支援事業は「生活困窮者就労訓練事業認定事業所」となることは難しいとの状況から、さわやかワークセンターでは職業前訓練のボランティアとして受入を行っている。
- ・のぞみ園への「臨海斎場」業務移管・引継  
業務概要説明 6/28、実地見学 7/21、予算打合せ 9/14  
10月以降のぞみ園職員による現場実習を実施

#### ウ) 高齢化・緊急時の地域生活継続支援

- ・「緊急の緊急」対応事例を通して  
新井宿福祉園で6月15日(木)保護者の緊急入院が生じた。  
つばさホームの空きが無かった為、園の静養室で緊急一泊(対応園長)を行い、翌日からつばさホームにつなげた事例があった。  
この事例から、いわゆる「緊急の緊急」時に法人職員が事業所内で宿泊を伴う対応を行わざるを得なかった場合は、当面「宿泊訓練」に準じ対応をしていく。

#### エ) 居住系事業所間連携

##### ○大田区立つばさホーム前の浦の動き

- ・8月8日と11月22日 江戸川区立障害者支援ハウス見学
- ・9月8日豊島区の福祉ホーム「さくらんぼ」見学
- ・東京都居住支援担当訪問(8/3、8/17、3/13)
- ・大田区障害福祉課協議・報告  
(7/5、8/18、9/20、10/10・16、12/19)

##### ○体験型グループホームの開設に向けた動き

- ・4月10日(株)ふくしねっと工房見学
- ・生活ホームとさんさん幸陽との打合せ(6/5、6/13)
- ・9月28日(木)本部協議し、12月1日募集開始を決定する。
- ・関係事業所間協議及び説明(10/12、11/6、11/17)

##### ○障がい者総合サポートセンターの「グループホーム連絡会」

- ・生活ホーム及びつばさホームが参加

#### オ) その他

	<p>○若草青年学級事業の引継ぎ さわやかワークセンター谷口所長が、活動日及びスタッフ会等にオブザーバー参加し、課題把握した。</p>
--	---

目標・ねらい	③多機能型居住支援の場づくり
実績・課題	<p>・西蒲田幸陽ホーム・ケアサポート幸陽西蒲田の開設協議都への相談・協議(6/7、7/20)、オーナー打合せ(8/24)の後、9月20日:「基本合意書」締結 当初予定:平成30年2月竣工、3月1日開設(予定) 3月20日理事会:着工遅れにより6月竣工7月開設(予定) 工事進捗を確認しながら、開設準備を進めている。</p>

## 2) 地域公益活動の推進

目標・ねらい	①東京都地域公益活動推進協議会への積極的参画
実績・課題	<p>・広域連携事業推進委員会への委員参加(常務理事) 5月19日(金)第1回広域連携事業推進委員会 7月4日(火)第1回広域連携事業説明会 8月22日(火)相談支援機関と就労訓練事業所等との懇談会1 9月4日(月)第2回広域連携事業推進委員会 12月1日(金)第2回広域連携事業説明会 12月6日(水)相談支援機関と就労訓練事業所等との懇談会2 12月12日(火)第3回広域連携事業推進委員会 2月1日(木)中間的就労事例検討会(参加事業所連絡会) ・中間的就労支援「はたらくサポートとうきょう」加盟状況 3事業所:のぞみ園・まごめ園・さわやかワークセンター</p>

目標・ねらい	②大田区社会福祉法人協議会幹事法人として地域連携推進
実績・課題	<p>○「おおたスマイルプロジェクト(*)」の推進 (*)大田区社協・池上長寿園・大洋社・当法人で地域の福祉的課題に連携して取組むしくみ ・体験型学習支援「れいんぼう」事業への協力 ひとり親家庭の小中学生への体験型学習支援事業の会場調整 2月から「フードバンク」の食材提供を実施した ○就労支援プログラムの推進 ・「中間的就労に関する情報交換会」開催 6/28 ・就職面接会「ふくしのしごと市」開催 12/3 ○大田区社会福祉法人協議会の活動推進 幹事会開催9回:4/13、5/26、6/15、7/25、9/19、10/20、1/15、2/14、3/15 全体会開催3回:7/12、11/1、2/9</p>

目標・ねらい	③「はたらくサポートとうきょう（中間的就労推進事業）」体制整備
実績・課題	<p>○中間的就労の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大田区生活再建・就労サポートセンターJOBOTA と連携・訪問 5/9（8名）</li> <li>・体験ボランティア受入試行（8/16 13：00～ 計20回）</li> </ul> <p>○「食」に関する「フードバンク事業」の調査と関わり方検討</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・セカンドハーベスト 8/9 5名</li> <li>・企業組合あうん 9/14 3名</li> <li>・のぞみ園で1月から準備、2月から「あうん」の食材を体験型学習支援「れいんぼう」事業に提供する活動を開始</li> </ul>

目標・ねらい	④移動支援従業者養成研修事業無償化の継続
実績・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回実績：平成29年7月16日・17日・22日の3日間 募集人員30名、受講10名、当日キャンセル2名、登録0名 講師に法人職員を2名新たに選定した。</li> <li>・第2回実績：平成30年2月10～12日の3日間 募集人員30名、受講28名、当日キャンセル2名、<u>登録5名</u> 上記JOBOTAと連携できた。法人職員の講師養成を行った。</li> <li>・以上の実績を踏まえ、平成30年度は年3回に事業拡充する。</li> </ul>

目標・ねらい	⑤その他-1 福祉実習学生等の積極受入				
	社会福祉士	介護等体験	人事院	保育その他	合計
のぞみ園	5名 48日	3名 15日	3名 15日		11名 78日
まごめ園	1名 8日	8名 40日	3名 15日		12名 63日
さわやかワーク	5名 126日			2名 6日	7名 132日
しいのき園	4名 79日	14名 70日		4名 48日	22名 197日
志茂田福祉センター				2名 24日	2名 24日
新井宿福祉園		7名 35日		20名 53日	27名 88日
池上福祉園	4名 73日	12名 60日	6名 30日	5名 14日	27名 177日
大森東福祉園	4名 96日	11名 55日		1名 1日	16名 152日
合計	23名 430日	55名 275日	12名 60日	34名 146日	124名 911日

参考：H28年度 98名 716日

H27年度 120名 900日（体感77-21名 21日含む）

目標・ねらい	⑤その他-2 ボランティアの積極的受入	
のぞみ園	延べ88名	池上福祉園 延べ288名
まごめ園	延べ89名	大森東福祉園 延べ706名
さわやかワークセンター	延べ74名	合計 延べ2,451名
しいのき園	延べ121名	参考：28年度延べ1,736名 27年度延べ1,999名
志茂田福祉センター	延べ319名	
新井宿福祉園	延べ766名	

### 3) 福祉人材の採用と育成・サービスの質の向上

目標・ねらい	①計画的な人材採用
実績・課題	<p>○平成30年度新規採用等人材確保の主な動き</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・5月24日 日本社会事業大学訪問</li> <li>・7月7日付け「8/25 法人説明会」開催のHP 掲示</li> <li>・7月11日 東洋大学訪問</li> <li>・7月21日 甲府医療秘書学院・国際医療福祉大学訪問</li> <li>・9月15日 中部学院大学訪問</li> <li>・9月21日 マイナビ打合せ</li> <li>・9月29日 求むシニア人材・高齢者のための就職面接会 P10</li> <li>・11月6日 WEB 求人サイト掲載（継続）</li> <li>・11月27日 WEB 求人サイト（エンジャパン）求人開始</li> </ul>

目標・ねらい	②研修体制の見直し整備及び事例検討ファシリテーター養成
実績・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「職場外研修」である階層別研修を「別表」の通りシンプル化し、「職場研修」を「OJT 推進」・「事例検討」中心に強化する方向で見直しを進めた。</li> <li>・OJT のあり方・考え方の整理 ⇒OJT チェックリスト改訂・面談シート等作成し30年度施行</li> <li>・前年度末から始めた、事例検討ファシリテーター養成を目的とした「深谷塾（事例検討会）」を6回実施（偶数月開催）した。 講師：深谷美枝明治学院大学教授 職員7名：長尾右近(のぞみ) 志田真由子(まごめ) 吉田和世(新井宿) 服部絢子(池上) 間山広基(東) 柳優香(さわやか) 竹生和紗(生活H)</li> <li>・事例検討を職場に十分に浸透させるには、法人としてのトップダウンによる方法提示と管理者自身による促進がまだ十分ではないようであり、30年度の課題と考える。</li> </ul>

別表

対象	日付け	講座	対象	日付け	講座
新任職員	4月2日	採用時研修	全階層	1月16日	虐待防止研修
	5月23日	原点研修 「法人の成り立ち・親として」 講師：辛嶋雅子理事		2月26日	地域生活支援の実際 当事者の声に学ぶ
	6月22日	権利擁護研修①	3・4等級 管理職	7月6日	ハラスメント防止研修 21世紀職業財団主催
	6月27日	権利擁護研修②		1月13日	リーダーシップ研修
	12月5日	ブラッシュアップ研修		11月22日	知的障害者の高齢化と地域生活 支援 講師：志賀利一氏 国立のぞみの園事業企画局研究部部長
事業所 抽出	6回	事例検討ファシリテータ養成研修 明治学院大学 深谷美枝教授	4法人※ 合同研修 企画		

※4法人：東京都育成会、知恵の光会、睦月会、大田幸陽会

目標・ねらい	③第15回法人職員全体研修会の開催
実績・課題	<p>・7月1日(土) 大田区池上会館 出席：総計202名 内訳：職員175名、法人役員等関係者12名、後援会2名、来賓13名</p> <p>研修会総合テーマ：「陽光を地域へ」</p> <p>事例発表：「利用者の将来に向けた支援」新井宿福祉園 コーディネーター：山崎美貴子氏（法人理事／東京ボランティア・市民活動センター所長／神奈川県立保健福祉大学顧問・名誉教授） パネリスト：深谷美枝氏（明治学院大学教授） 佐々木桃子氏（法人理事／大田区手をつなぐ育成会会長／社福）東京都知的障害者育成会理事長） 深堀 俊朗（大田区立しいのき園施設長）</p> <p>事例検討：法人事業所間連携による実践報告 「仲良くしたいって何だろう？」リレー方式で報告 つばさホーム→まごめ園→生活ホーム→池上福祉園</p> <p>分科会：28グループで事例報告をもとに事例検討 全体会：8グループから事例検討結果を報告・討議 コーディネーター：山崎美貴子氏（同上） パネリスト：佐々木桃子氏（同上） 佐藤 功（法人常務理事） 中越 祐一（相談支援室さんさん幸陽室長）</p> <p>講 評：コーディネーター山崎美貴子氏</p>



目標・ねらい	④人権権利擁護を柱とした「風通しの良い職場環境づくり」
実績・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ハラスメント防止研修」の受講促進 参加管理監督職 8 名：長尾園長、谷口所長、宮崎園長、中越所長、森下係長、小幡係長、大場統括主任、竹村統括主任 研修名：パワーハラスメントにならない指導法セミナー 主催：公益財団法人 21 世紀職業財団 日時・会場：7 月 6 日(木)13：30～16：30 連合会館 402 会議室</li> <li>・新規採用職員研修「権利擁護研修」開催 6 月 22 日・27 日</li> <li>・「虐待防止研修」「都人権研修」「障害者差別解消法研修」等 ⇒事業所単位で職員派遣を実施</li> <li>・特に 7 月 31 日の虐待通報後、以下の体制見直しを進めた。 虐待防止対応要綱を制定 12 月 1 日施行 旧人権権利擁護推進委員会（人権 PT 代表者会）を 虐待防止・人権委員会に改組し、虐待防止を明示した。 職員相談窓口設置要綱を制定・12 月 1 日施行した。 ⇒社福）東京都知的障害者育成会本部を訪問（5/18）している。</li> <li>・また、3 月 19 日に虐待通報事例があったことについて 法人と現場事業所及び管理監督職と一般職員との間に「通報行動」についての理解・意識のギャップが生じないように、なお人権をめぐる社会環境の変化とこの度の要綱制定の主旨について研修等周知を徹底する必要がある。</li> </ul>
目標・ねらい	⑤新しい「中核職員」によるチーム作り・業務継承
実績・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・改正社会福祉法に対応し法人組織が 6 月下旬に再編され、29 年度の各委員会等体制を改組し 7 月から動き出した。</li> <li>・改組概要：○支援係長主任会議を支援統括責任者会議へ名称変更。○情報管理 P T を法人事務担当者会議の情報管理部会へ改組。○サービス向上委員会を 4 部会（幹事会、サービス管理責任者部会、リスクマネジメント部会、OJT 部会）とした。</li> </ul>

目標・ねらい	⑥防災訓練・災害時想定訓練の計画実施、事業継続計画の検討
実績・課題	<p>まごめ園：定期避難訓練の他、6 月 4 日(日)馬込地区合同防災訓練参加。「緊急時メール送信訓練」を希望保護者対象に実施。 内部研修「避難経路確認・緊急通報訓練」実施 内部研修「救命講習（AED・応急救護）」講師：東京消防庁職員</p> <p>のぞみ園：定期避難訓練の他、7 月 27 日(木)のぞみ・つばさ合同防災訓練実施。9 月 28 日(木)～29 日(金)緊急時集団避難生活訓練（宿泊）を実施。参加利用者 12 名。津波・大雨想定高所避難訓練 2 回実施。</p>

	<p>しいのき園：定期避難訓練の他、6月1日(木)災害用伝言板(WEB171)による緊急時連絡訓練を実施。11月19日(日)糀谷地区一斉防災訓練参加・避難所開設。</p> <p>さわやかワーク：定期避難訓練の他、4月21日(金)都立大崎高校1年生(約240名)と西蒲田二・三丁目自治会及びさわやかワークセンター合同の防災訓練を実施。ふれあいはずぬま防災拠点会議への参加(5/17、6/12)。7月9日(日)避難所防災訓練参加。「東京防災学習セミナー」の企画及び7月11日(火)実施</p> <p>志茂田福祉センター</p> <p>9月1日(金)「大田区シェイクアウト訓練※」に参加。区・法人合同机上防災訓練等。</p> <p>新井宿福祉園：定期避難訓練の他、9月21日(木)市野倉消防署指導のもと「職員向け消火器訓練・通報訓練」実施。</p> <p>池上福祉園：定期避難訓練の他、7月11日(火)職員緊急連絡網訓練、9月1日(金)「大田区シェイクアウト訓練※」に参加</p> <p>※2008年アメリカで始まった訓練。日本語訳は「地震をぶっとばせ!」という意味の造語。訓練開始とともに参加者は、それぞれの場所で、①姿勢を低く、②体・頭を守って、③揺れが収まるまで動かない という行動を取る。</p> <p>大森東福祉園：定期避難訓練の他、9月1日(金)大森消防署による応急救護訓練(AED取扱)実施。9月14日(木)緊急時引取想定訓練として家族との電話・一斉メールによる送受信訓練実施。</p> <p>つばさホーム：定期避難訓練の他、7月27日(木)のぞみ・つばさ合同防災訓練実施。7月29日(土)休日夜間避難訓練実施。</p> <p>10月1日地域合同防災訓練参加。</p> <p>障害者生活ホーム：各ユニット毎に地域の防災訓練に参加。3月全ユニットの連絡体制確認のための防災訓練を実施。</p>
--	---

#### 4) 改正社会福祉法に対応した経営改革推進

目標・ねらい	①ガバナンス(自己統治力)強化
実績・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回理事会6/13、定時評議員会6/28、第2回理事会6/28を開催、議決した役員選任、関係規程等の改正・制定等の事項により、改正社会福祉法に準拠した体制が整った。</li> <li>・会計監査人の設置等の更なる内部管理体制整備が課題。当法人については平成33年度以降が本則適用の見込み。</li> <li>・職員相談窓口設置要綱を制定・12月1日施行した。全職員を対象とした相談窓口である。法人事業所で発生あるいは発生の恐れのある課題等について相談を受け付け、必要に応じ法令遵守推進委員会等の専門委員会に繋げる役割。</li> </ul>

目標・ねらい	②法人の活力ある持続的発展に向けた人事労務制度の改善
実績・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンサルタントを入れた定期会議「人材管理ミーティング」を6月から10回開催し、以下の成果物を得た。</li> <li>・処遇改善・キャリアパス整備の観点からの就業規則改正</li> <li>・改正労働契約法に対応（無期転換ルールを導入）した就業規則改正</li> <li>・人事管理コンサルタントは平成29年度で役割を一旦終了とする。</li> </ul>

目標・ねらい	③事業運営の透明性の向上及び財務規律強化への対応
実績・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本年4月より本部経費実績を毎月、各拠点に配賦するとともに、補助金・賞与等高額な収入・支出を毎月分割計上し、月次収支報告の分析精度向上を図る。</li> <li>・本年4月より導入の電子開示システムへの対応。期限内に所轄庁にデータ提出し、公表済み。</li> <li>・法人ホームページ上に、定款、役員等報酬規程、役員・評議員名簿、計算書類、財産目録、監事監査報告書、事業報告書、現況報告書の公表に対応済み。</li> </ul>

## 8 リスクマネジメント報告及び苦情解決・通報対応について

### 1) リスクマネジメント平成29年度集計

H29.4～9 上半期		リスクレベル				
		1	2	3	4	5
4月	168件	52	91	22	3	0
5月	121件	27	70	19	4	1
6月	144件	38	74	28	4	0
7月	97件	36	50	10	1	0
8月	125件	42	67	15	1	0
9月	138件	34	90	13	1	0
小計	793件	229	442	107	14	1
H29.10～3 下半期		リスクレベル				
		1	2	3	4	5
10月	137件	34	93	9	1	0
11月	122件	22	83	14	3	0
12月	98件	29	53	14	2	0
1月	115件	30	69	9	6	1
2月	104件	30	64	11	0	0
3月	151件	47	83	15	5	0
小計	727件	192	445	72	17	1
合計	1,520件	421	887	179	31	2

- ※レベル1（ひやりはっと）、  
 レベル2（軽微な事故）、  
 レベル3（ケガ、破損等具体的な損害が発生した事故）、  
 レベル4（他機関との連携が必要な事故）、  
 レベル5（救急対応、重大な事故）

レベル5 2件の概要

5月25日	新井宿	園行事（宿泊訓練）から帰園後てんかん発作。2度目の発作で救急車要請。病院処置後帰宅。
1月5日	池上	怪我：トイレ介助で利用者に移乗する際、床マットに職員がつまずき転倒した際、利用者の頭部が床に当たる。救急車要請。

レベル4 31件の概要

※注)「器物破損」は、利用者・職員に怪我がない場合もレベル4で報告をしている。

4月13日	志茂田	利用者転倒し頭部打撲、救急車要請。CT検査異常なし。
4月22日	つばさ	服薬忘れ：自立訓練利用者の朝食後薬を渡し忘れ
4月28日	ケアポート	移動支援中に利用者を見失う。1時間半後合流できる。
5月1日	まごめ	職員が利用者に噛まれ通院処置
5月9日	新井宿	車いす利用者に移乗中、アームレストを破損する
5月16日	まごめ	利用者が帰宅中、走行中の路線バスに触り運行を止めたため警察出動し、園職員が対応した。利用者ケガ無し。
5月23日	まごめ	職員が利用者に噛まれ通院処置
6月2日	まごめ	利用者が作業室本棚に登ろうとして本棚が壊れる
6月8日	しいのき	登園中利用者が行方不明。警察通報、午前中に区内で発見。
6月19日	まごめ	職員が熱中症チェッカーを落として壊す。
6月29日	生活ホーム	利用者が単独通院中、自動車と接触。事後本人申出により判明。通院し打撲と診断。警察に申し出る。
7月7日	まごめ	送迎バスを利用した外出時、急ブレーキで車いす固定ベルトが外れ車いす利用者が前部シートに脚部を打撲、通院処置。
8月11日	生活ホーム	利用者が入浴中転倒し頭部打撲したため通院。異常なし。
9月21日	池上	歩行器で移動中の利用者がバランスを崩し尻もち転倒。頭部を打撲。家庭・病院と連絡を取り翌日受診異常なし。
10月13日	新井宿	器物破損：アコーディオンカーテン破損。
11月15日	池上	器物破損：加湿器タンクを職員が落とし破損。
11月17日	新井宿	利用者支援中に職員の眼鏡破損。
11月22日	しいのき	転倒：利用者が昼休みに転倒し、前歯を欠損。保護者へ連絡後、近隣の歯科および総合病院へ受診同行。
11月24日	池上	器物破損：お茶用ポットを職員が落とし、破損。買い替え必要。
12月27日	大森東	苦情：「胃ろうケアの体制などに不安がある」件で大田区福祉オンブズマンより12/27調査協力依頼書が届く。1/23調査面談。結果、胃ろう利用者の園内での対応は、家族ではなく園が主体になって対応することが基本であること。園はリスクの改善に取り組んでいるので、家族は心配があるかもしれないが、見守ってほしい。旨の調査結果報告を得る。

1月9日	池上	器物破損：利用者が小便器の陶器部分を投げ破損。職員が目を離した時の出来事。
1月15日	池上	怪我：利用者が更衣室で静養後、タオルケットを片付けようとし、キャビネット引き出しを開けると倒れ、右手がキャビネットの下敷きとなり、通院。
1月16日	まごめ	所在把握漏れ：園外活動中行方不明。約2時間後、単独で帰園。緊急連絡先に連絡するが電話に出られず捜索願いの手続きできず。
1月30日	まごめ	怪我：園外活動で近隣公園滑り台利用。利用者を支えた職員が右小指基節骨骨折。全治3週間。
1月22日	池上	器物破損：利用者が下膳の際に職員の陶器の食器を投げ、破損。利用者と職員の距離が近く、利用者の手が届くところに陶器の食器を持っていた。
1月29日	池上	車両関係：送迎中に道路標識と民家の植木に接触。けが人なし。警察に通報し、事故処理。乗車していた利用者は他バスに乗り換え送迎。
3月5日	池上	器物破損：利用者が下膳時にお盆を持ち上げた際、茶碗がお盆から落下し、割れた。
3月13日	池上	器物破損：職員が桶にポットを落として桶にひびが入る。
3月14日	池上	器物破損：職員が食器を下膳する際に、手が滑り、小鉢の蓋を床に落とし、ふちが欠ける。
3月26日	池上	器物破損：利用者が昼食後の下膳時に、片手でお盆を持ってカートへ皿を重ねていた。お盆のバランスが崩れてコップが落下し破損した。
3月26日	池上	器物破損：利用者が医務室に除菌水の補充に行った際、手が滑って容器が落下し破損した。

## 2) 虐待通報

- ① 7月31日(月)大田区障害者虐待防止センターへ法人本部法令遵守責任者より通報を行った。
- ② 3月19日(月)大田区障害者虐待防止センターへのぞみ園施設長より通報を行った。

## 9 福祉サービス第三者評価受審結果

今年度は以下の3事業所が受審した。下表に結果概況を抽出する。

- ・のぞみ園評価機関：(株)にほんの福祉ネット
- ・新井宿福祉園同上：公益社団法人東京社会福祉士会
- ・池上福祉園同上：公益財団法人日本チャリティ協会

	特に良い点	更なる改善点
のぞみ園	①利用者の社会的自立を目指した一貫した取り組みがある ②工賃を高い水準を保ち、開設以来その向上を継続的に図っている ③支えられつつ、かつ、貢献する地域に根ざした存在となっている	①(職員の)育成過程の明確化を図っていく ②今後も継続的に業務の見直しを図っていく ③利用者の「出来ること」に着目した記録の一層の活用を図っていく
新井宿福祉園	①事業所理念「地域と共にある」を念頭に置いて、地域社会と連携した取り組みを積極的に行っている ②利用者の安心安全を更に高めるため、リスクマネジメントの強化を推進している ③自治会活動では、利用者が日中活動や行事での役割や希望を取りまとめるなど、主体的に活動できるよう支援している	①事業所環境の変化に対応した職場の活性化に期待したい ②日中活動見直しプロジェクトを進め、職員のアイデアを取り入れた活動内容の充実化が望まれる ③加齢に伴う障害の重度化や多様な疾患・障害特性を持つ利用者が増える中で、専門性に基づく支援の更なるスキルアップが望まれる
池上福祉園	①あたらしい利用者が直面する不安や戸惑いを少なくしてストレス無く園生活になじむよう取り組んでいる ②職員育成を図るために研修参加促進に取り組んでいる ③地域の行事に参加し、地域住民との交流に努めている	①職員の入替が多く、支援や業務引継が連携せず、ミスの要因となっている為、業務手順の再構築に期待します ②(園の重点目標は記載があるが)事業で最も重要な理念・方針について明確な提示と周知の取り組み強化が望まれます ③ヒヤリハットが多くあり、改善に向けて検討することが望まれます

## 10 指導監査・監査等について

- 1) 大田区法人指導検査連絡会・・・9月29日(金)開催への事務局職員出席
- 2) 税務調査・・・・・・・・・・8月21日(月)～22日(火)大森税務署
- 3) 大田区監査・・・・・・・・・・10月31日法人本部・区立つばさホーム前の浦
- 4) 実地指導
  - ・1月10日のぞみ園
  - ・1月12日さわやかワークセンター
- 5) 社会福祉法人指導監査
  - ・1月24日法人本部

## 1.1 寄附の受領

5件 2,030,000円

寄付者の氏名・団体名（敬称略）	寄付者の属性	寄附金額
一般社団法人大森倶楽部 理事長 平林義彰	5	1,000,000円
辛嶋 雅子	1	30,000円
河野 桃弘	1	500,000円
大田区手をつなぐ育成会 会長 佐々木桃子	5	200,000円
大田幸陽会後援会 会長 松原茂登樹	5	300,000円

※寄附者の属性の内容：1法人の役職員、2利用者本人、3利用者の家族、4取引業者、5その他

## 1.2 会議等の開催：6月28日組織改編あり

### ・定款細則で定める会議等

経営会議・・・・・・・・・・7月から10回（臨時1回含む）

○人材管理ミーティング・・・・6月から10回

法令遵守推進委員会・・・・・・・・2回

職員昇格選考判定委員会・・・・・・・・1回

### ・組織規程で定める機関の会議等

#### (1) 法人事業企画調整室・・・・・・・・・・48回

○全体会・・・・・・・・・・1回

○居住の場建設整備事業・・・・・・・・37回

（・体験型GH準備6回、・新GH案件4回、・西蒲田案件3回、  
・日中一時及び緊急の緊急対応4回、・つばさ改革対応16回、  
・地域生活支援及び居宅事業4回）

○多機能総合化事業打合せ・・・・・・・・10回

（・喫茶事業3回、・臨海斎場移管4回、・若草事業継承3回）

#### (2) 拠点施設長会・・・・・・・・・・11回（旧経営会議3回・拠点施設長会8回）

#### (3) 職階・職種別会議

①支援統括責任者会議・・・・・・・・11回（内、前半3回は支援係長主任会議）

②法人事務担当者会議・・・・・・・・8回

○情報管理部会・・・・・・・・3回

③看護師連絡会・・・・・・・・3回

④栄養士連絡会・・・・・・・・4回

⑤相談支援従事者会・・・・・・・・3回

#### (4) 専門委員会

①研修委員会・・・・・・・・12回

②虐待防止・人権委員会・・・・・・・・7回

③サービス向上委員会 ○部会長幹事会3回、○サービス管理責任者部会7回  
○リスクマネジメント部会10回、○OJT推進部会6回